

■生活継続力評価結果

評価結果
サンプル

発災時リスク	得点	ケーススタディ平均 【101 戸以上】	生活継続リスク	得点	ケーススタディ平均 【101 戸以上】
1. 負傷リスク対策	0.9	0.5	1. 停電リスク対策	0.6	0.4
2. 閉じ込めリスク対策	0.3	0.5	2. 断水リスク対策	0.7	0.5
3. 避難リスク対策	0.9	0.7	3. 排水不全リスク対策	0.8	0.5
4. 火災リスク対策	0.8	0.6	4. ガス供給停止リスク対策	0.8	0.7
5. 情報不全リスク対策	0.7	0.6	5. 移動困難リスク対策	0.5	0.6
6. 混乱発生リスク対策	0.8	0.7	6. 寝食困窮リスク対策	0.6	0.6
発災時リスク合計	4.4	3.6	生活継続リスク合計	4.0	3.3

青字：ケーススタディ平均より評価が高い項目 赤字：ケーススタディ平均より評価が低い項目

発災時リスク対策

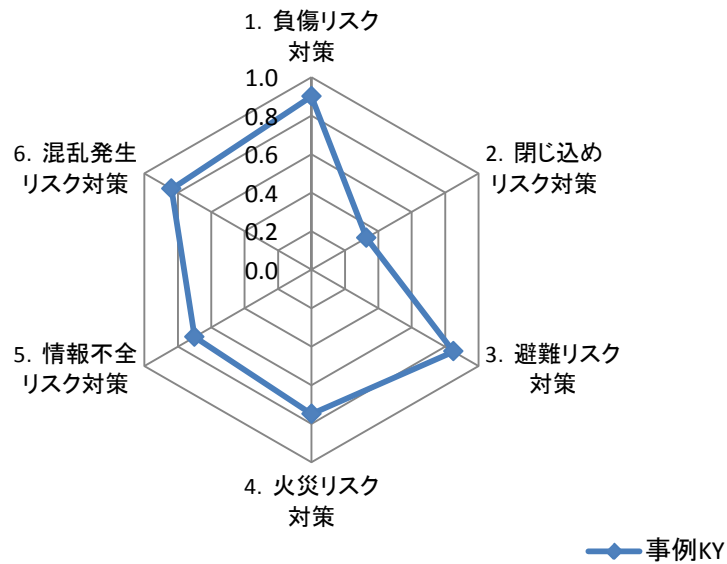


図. 発災時リスク対策の評価結果

生活継続リスク対策

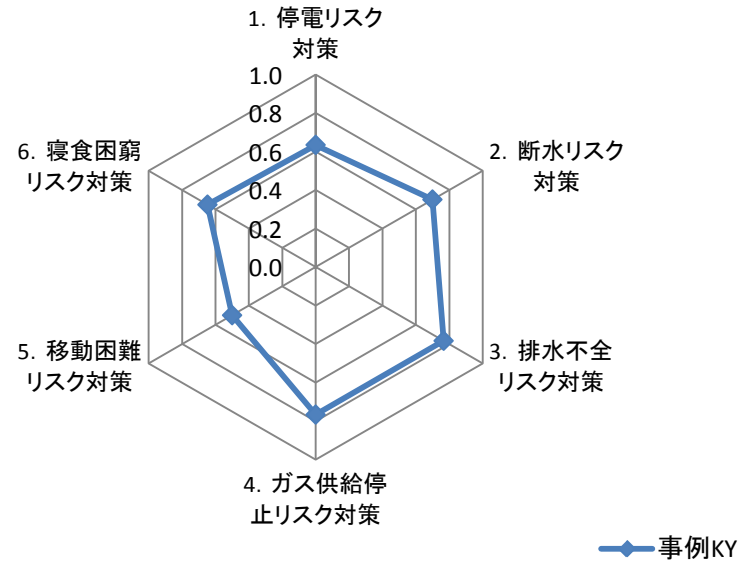


図. 生活継続リスク対策の評価結果

■生活継続力評価結果（101戸以上の大規模施設の基準値に対する偏差値）

評価結果
サンプル

発災時リスク対策(大規模施設での偏差値)

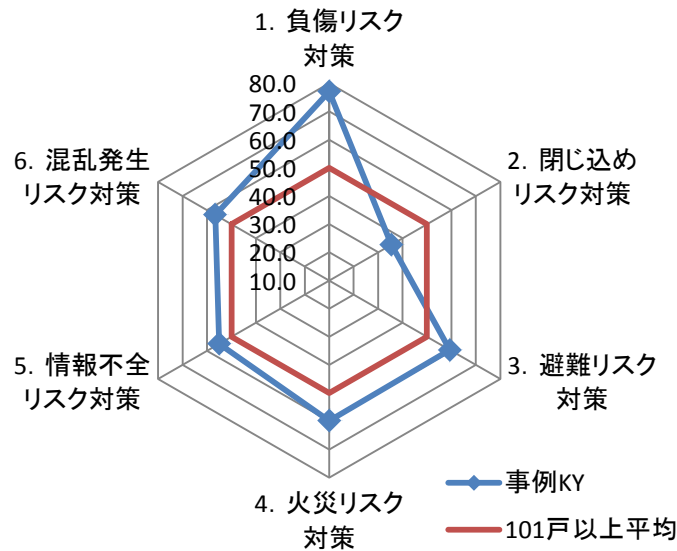


図. 発災時リスク対策の評価結果（偏差値表示）

生活継続リスク対策(大規模施設での偏差値)

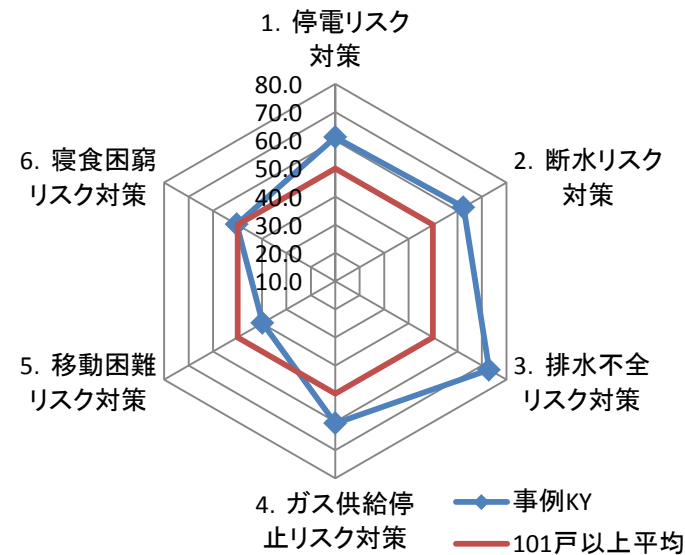


図. 生活継続リスク対策の評価結果（偏差値表示）

以下は、評価結果のまとめのイメージです。（今後、開発予定）

■総評：生活継続力アップに向けた提案

- ・貴マンションの“生活継続力”については、表1に示す通り、発災時リスク対策、生活継続リスク対策ともに、ケーススタディ平均値を高く上回っている項目が多く、全般的にみて“生活継続力が高い”と言えます。
- ・図3で示すように、ケーススタディ81件の得点分布に対して、貴マンションの得点は、右上に位置しており、一般的なマンションより生活継続力が高いと言えます。また、図4・図5のように大規模マンションの中で比較した場合、図4の発災時リスク対策は、閉じ込めリスク対策を除く全ての項目に関して平均を上回っています。図5の生活継続リスク対策については、停電、断水、排水不全、ガス供給停止リスク対策に関して、平均を上回っています。
- ・【発災時リスク対策】に関して、図4で示すように、101戸以上の大規模施設の基準値と比べると、負傷、避難、火災、情報不全、混乱発生リスク対策で優れています。今後さらに取り組むべき対策として、玄関ドアの耐震ドアへの更新、エレベーターの地震時管制運転装置設置、エレベーター内の非常用備品の設置等をお勧めします。
- ・【生活継続リスク対策】に関して、図5で示すように、停電、断水、排水不全、ガス供給停止リスク対策で優れています。今後、さらに取り組むを進めたい項目は、例えば、階段移動補助具の設置、災害時の廃棄物置き場の計画等をお勧めします。